

令和4年度学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

(1) 名称

東京都立世田谷泉高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）

(2) 事務局の構成

総合支援部主任（事務局長）、副校長

(3) 内部委員の構成

校長、副校長（2名）、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任、総合支援部主任 計8名

(4) 協議委員の構成

世田谷区烏山上町会長

帝京大学高等教育開発センター 助教

世田谷区烏山総合支所烏山まちづくりセンター所長

警視庁成城警察署生活安全課少年係長

東京消防庁成城消防署烏山出張所長

東京都立世田谷泉高等学校 保護者の会いずみ会代表

計6名

2 令和4年度学校運営連絡協議会ならびに評価委員会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者数、内容

第1回 令和4年6月21日（火）午後1時30分～午後2時30分

内部委員8名、協議委員4名

① 委員紹介

② 協議会設置要綱及び協議会の趣旨説明

③ 前年度の課題

④ 今年度の取り組みについて

(a) 前年度学校経営報告及び今年度学校経営計画について(校長)

(b) 学校開放実践報告書について(企画室長)

(c) 各部の取り組みについて

第2回 令和4年11月29日（火）午後1時30分～午後2時30分

内部委員8名、協議委員4名

① 教育活動に関する報告

② 教育活動に関する外部委員からの意見聴取

（文化祭についてのご質問、ボランティア活動のご質問）

③ 今年度「学校評価アンケートの実施について」

(a) アンケートの配布と回答方法

Microsoft Formsによるアンケート形式でQRコードからMicrosoft Formsへアクセスして、入力をお願いします。

その後、データを集計する。

(b)分析(考察)について

例年通りの質問とそれ以外で問を5題追加する。新しい取組や不登校についてのアンケートを追加した。

第3回 令和5年3月15日(水) 午後2時00分～午後3時00分

内部委員8名、協議委員4名

①教育活動に関する報告

(a)令和4年度各分掌から取組についての説明

(b)進学・就職活動状況について(進路部)

②学校評価アンケートの集計結果について

(a)評価委員会から分析結果報告

(b)評価委員会から「学校への提言」

(2) 評価委員会の開催

第1回 令和4年11月29日(火) 内部委員1名、協議委員2名

学校評価の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察から、今年度の学校評価の実施に向けた検討、追加設問の検討

第2回 令和5年3月15日(水) 内部委員1名、協議委員1名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理(回答数減少)

提言の原案作成、報告書の原案の説明

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

(1) 学校評価の観点

生徒及び保護者、並びに教職員の「学校への理解」「学校への意欲」「学校での実践」の観点で評価を実施し、次年度における柔軟で、機動的な学校運営に資する。(※ライフ・ワーク・バランスに関するアンケートを含む)

(2) アンケートの実施・対象

本校生徒、本校保護者、本校教職員と地域に対して、本校の学校運営や教育活動、教育環境等について、意識をアンケートにて集め、分析することで、本校の学校経営や教育活動の改善に資することを目的とする。

(本校は、地域に対してのアンケートを行っていない。)

(3) 分析結果の報告について

各質問の回答分布および、生徒・教員・保護者の回答数の傾向を、学校評価委員会、学校運営連絡協議会において分析結果を報告する。

回収率：生徒 302名(48、0%) (昨年度より14%下降)

保護者 101名(16、9%) (昨年度より3%下降)

教員 54名(100%)

(4) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・

設備、体罰・暴言、ライフ・ワーク・バランス

(5) 評価結果から考察した提言内容

①保護者の回答率が非常に少ないことが昨年度も課題となっているにもかかわらず、今年度の更に減少した。「わからない」という回答肢を求める声があるにもかかわらず、今年度も改善されていない。こうした学校の取組姿勢はアンケート自体に対する信頼性を著しく損ねている。猛省と改善を求める。

②全設問にわたって生徒・教員・保護者の回答の比較から見て取れる特徴的な「差」が示していることを学校課題と捉え、トライアングルバランスの構築をめざしてほしい。

(6) ライフ・ワーク・バランスについて

元年度から新たに「国や東京都が教職員の『働き方改革』に取り組んでいることを知っていますか。」という質問を追加した。昨年は、70%程度の回答であったが、今年度保護者は77%まで上昇。また、新たに「今年度入学生から全員がパソコンを保有することになります。学校は教員活動において、パソコン・スマホ・プロジェクター等のICT機器を効果的に活用出来ていると思いますか。」の質問に教員は60%以上の回答があり、『働き方改革』における業務の効率化等について一定の成果はあったと思われる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

(出された意見)

- ・保護者アンケートの回収率を上げてほしい。
- ・防災教育では、協力してわかりやすい教育を実践する。
- ・教員が努力して、指導に当たっている事項で、保護者が満足していない事項もあるので、丁寧な分析が必要である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・保護者アンケートの回収率を上げる。保護への連絡方法を改善していく。
- ・生徒・教員・保護者の回答の比較から見て取れる特徴的な「差」が生まれにくいようにし、より良い取組が出来るようにしていく。

5 学校運営連絡協議会及び授業評価・学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ①校舎、設備などかなり老朽化が進んでおり、施設整備が急務である。
- ②バリアフリーを意識した学校づくりを目指す。エレベーター、手すりの設置。
- ③学校施設開放の充実。地域に信頼される学校づくりの推進。

(2) 学習指導

- ①補習や受験指導などの実施を検討する。
- ②個に応じた教育の実施し、選択科目の自由度を上げていく。
- (3) 生活指導
 - ①体育祭及び文化祭等において、自主的な活動を尊重した実施計画を立案する。
 - ②防災訓練において、自主的な活動が出来るように順序たてて立案する。
- (4) 特別活動
 - ①生活指導部が中心となり、体験入部などが活性化するようさせる。
 - ②部活動を活性化させるため、新しいタイプの部活動などを発足させる。
- (5) 進路指導
 - ①進路指導部の活動等を通信等で周知する。
 - ②進路指導に対応するため、研修会を行う。
- (6) 健康・安全
 - ①セーフティ教室の実施により、薬物、ネット等の危険性についての認識を深める。
 - ②防災訓練(講話・体験)により、自己を守り、人を大切に出来るようにさせる。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない	無回答
2	1	1	0	1	1	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

感染症対策により、積極的に協議委員を参加させることは出来ない。